第11回かごしまデータ科学シンポジウム in Okinawa
プログラム (2026年11月06日版)

会期：2027年01月18日(月)～19日(火)，会場：沖縄青年会館

シンポジウム参加費：5,000円（非課税），情報交換会参加費：5,000円(税込)

1日目 (2027年01月18日(月))

受付開始 (10:00～)：沖縄青年会館
開会挨拶(10:30～) 米山 昭成 (PPD-SNBL)

第1会場

Session1a	臨床環境
10時35分～12時15分	座長：及川 伊知郎（PPD-SNBL）
10:35～11:25	臨床の「なぜ？」に、モデルで答える～レテルモビルの薬物相互作用評価に学ぶ、MIDDの実践～ 演者：吉次 広如（MSD株式会社）
11:25～12:15	時代は"爆速"　―AI利活用による戦略立案加速― 演者：寺尾 公男（中外製薬株式会社）

第2会場

Session1b	医学統計
10時35分～12時15分	座長：杉本 知之（大阪大学）
10:35～10:55	共通潜在構造とアウトカム関連情報を統合したJoint Multimodal Sparse Multivariable Analysisによるマルチモーダル欠測補完 演者：平野 晋吾, 光武 翼, 川口 淳（佐賀大学）
10:55～11:15	細胞タイプの混在を考慮した空間RNA Velocity推定のための遺伝子発現量補完法の提案 演者：尾形 寛太, 山本 真大, 宿久 洋（同志社大学）
11:15～11:35	欠測を伴う共変量をもつ回帰不連続デザインにおける多重代入法と共変量選択 演者：長坂 正一郎, 狩野 裕（同志社大学）
11:35～11:55	疾患リスクスコアを用いた二値アウトカムの因果効果推定 演者：大田 美翠, 篠田 覚, 三枝 祐輔, 武田 裕里子, 山本 紘司（横浜市立大学）
11:55～12:15	がん患者の自殺の要因分析 演者：高島祐子（大阪医科薬科大学），伊藤ゆり（神戸大学）

昼休憩 (12:15～14:00)

Session2a	特別講演
14時00分～15時15分	座長：下川 敏雄（和歌山県立医科大学）
14:00～15:15	攻めるリハビリテーション 演者：田島 文博（ちゅうざん病院）

Session3a	統計教育
15時30分～16時45分	座長：下川 敏雄（和歌山県立医科大学）
15:30～15:55	医学部のデータサイエンス教育におけるPBLの実践 演者：下川 敏雄（和歌山県立医科大学）
15:55～16:20	「AI時代を支える統計エキスパート人材育成(StatAxis)」の紹介 演者：水田 正弘（統計数理研究所）
16:20～16:45	初等中等教育におけるデータサイエンス教育の現状と高等教育への接続 演者：竹内 光悦（実践女子大学）

Session3b	データサイエンス
15時30分～16時50分	座長：渡辺 敏彦（日本CRO協会）
15:30～15:50	CRO協会におけるデータサイエンスの取り組み 演者：乙黒 俊也（ClinChoice株式会社）
15:50～16:10	USDMを中心とした、治験プロトコル情報の構造化・デジタル活用検討 演者：薄 美有（PPD-SNBL）
16:10～16:30	（仮）DCTにおけるデータマネジメントの在り方 演者：田中　優也(ICONクリニカルリサーチ合同会社)調整中
16:30～16:50	データサイエンティストの育成・そこしら統計による統計の普及 演者：隈本 洸一朗（シミック株式会社）

情報交換 (18:00～) 会場：SKY BAR TOP TREE OKINAWA

2日目 (2027年01月19日(火))

第1会場

Session4a	臨床統計
9時30分～10時50分	座長：丸尾 和司（筑波大学）
9:30～9:50	Covariate-adjusted ROC curve by the doubly robust method 演者：大江 基貴（アッヴィ合同会社）
9:50～10:10	（仮）Robustな解析手法のSAS実装　-KL-divergenceやβ-divergence- 演者：笹原 大敬（イーピーエス株式会社）
10:10～10:30	ベイズ流クラスタリング手法に基づく外部データの選択的利用法の提案 演者：村崎 亘（筑波大学）
10:30～10:50	ブリッジング試験におけるBayesian dynamic borrowing法の検討 演者：橋本 隆正, 黒田 晋吾（武田薬品工業株式会社）

Session5a	CDISC
11時00分～12時20分	座長：石田 達丈（PPD-SNBL）
11:00～11:20	CJUG SDTM成果物を活かす ～利用実態調査から見えた実践的リソースガイドの価値～ 演者：堀田 智子（CDISC Japan User Group SDTMチーム）
11:20～11:40	CDISC 360iが導く未来の臨床開発：統計プログラミングは自動化の時代へ 演者：山崎 文寛（武田薬品工業株式会社）
11:40～12:00	TAUGを知る，使う，そして育てる 演者：加藤 直樹（CDISC Japan User Group SDTMチームサポーター）
12:00～12:20	もう1つのCDISC標準：CDISC TMF and ISF modelのご紹介 演者：神田 悠社（Japan CDISC Coordinating Committee）

第2会場

Session4b	統計科学1
9時30分～10時50分	座長：花田 圭佑（和歌山県立医科大学）
9:30～9:50	未観測交絡の存在を考慮した表現学習を用いた最適輸送によるATE推定手法の提案 演者：堀口 泰生, 三澤 勇斗, 宿久 洋（同志社大学）
9:50～10:10	（仮）不死時間バイアスに対処する統計手法　レビューと比較 演者：會澤 俊希, 高橋 佳苗, 新谷 歩（大阪公立大学）
10:10～10:30	CATE推定から個別化治療方針へ：RCTデータを用いた検討 演者：高橋 香乃, 山本 綠, 川口 淳（佐賀大学）
10:30～10:50	ALK遺伝子陽性非小細胞肺がん患者における一次治療としての薬剤効果比較 演者：保木 瑛太, 谷川 裕哉, 藤原 颯槻, 松本 洋平, 河合 稜太, 熊谷 美香, 新谷 歩（大阪公立大学）

Session5b	統計科学2
11時00分～12時20分	座長：池田 公俊（アッヴィ合同会社）
11:00～11:20	（仮）生存時間エンドポイントを持つ単群臨床試験におけるベイズ標本サイズ設計のデザイン事前分布の再検討 演者：河原 理久, 堀口 剛, 手良向 聡（京都府立医科大学）
11:20～11:40	（仮）二値アウトカムをもつ3群プラセボ対照用量反応試験における事後順序確率を用いた指標について 演者：稲葉 洋介（千葉大学），大澤 麻衣子，川崎 洋平（埼玉医科大学）
11:40～12:00	（仮）REDCap Randomization機能を用いた二重盲検化運用の検討 演者：相田 麗, 太田 恵子, 吉田 寿子, 新谷 歩（大阪公立大学）
12:00～12:20	Causal Integral-Based Smooth Adaptive Regression (IBSAR) for Heterogeneous Treatment Effect: Balancing Prediction Performance and Interpretability in Clinical Research 演者：何 管文箐（和歌山県立医科大学/ PPD-SNBL）

昼休憩 (12:20～14:00)

Session6a	RWD
14時00分～15時15分	座長：永久保 太士（日本イーライリリー）
14:00～14:25	（仮）OMOP CDMの軌跡 演者：石田 達丈（PPD-SNBL）
14:25～14:50	（仮）OMOP共通データモデルを活用した解析アプローチの検討 演者：杉山 真美（SCSK）
14:50～15:15	アカデミアと企業におけるRWD研究実践の違いとは 演者：廣瀬 直紀（mMEDICI株式会社）

Session6b	統計科学3
14時00分～15時20分	座長：伊藤 ゆり（神戸大学）
14:00～14:20	保険者データベースによるTTEを用いた特定保健指導とヘルスリテラシーの関係の検討 演者：大澤 麻衣子, 川崎 洋平（埼玉医科大学大学院）
14:20～14:40	全国がん登録と商用診療データベース（MDV）におけるがん患者集団の比較評価～がん種横断的な症例数・年齢構成の検討～ 演者：松本 洋平, 藤原 颯槻, 谷川 裕哉, 保木 瑛太, 熊谷 美香, 河合 稜太, 新谷 歩（大阪公立大学）
14:40～15:00	公的データの連結によるPSA検診の評価：前立腺がん罹患・死亡との関連 演者：福沢 綾（大阪医科薬科大学）
15:00～15:20	（仮）ピロリ菌感染率を考慮した最適な検診間隔提案のためのマイクロシミュレーションモデルの開発 演者：大草 孝介（中央大学），石橋 史明（昭和医科大学）

Session7a	AI
15時30分～16時45分	座長：伊藤 久裕（国立がん研究センター中央病院/ 山梨大学）
15:35～15:55	（仮）生成AIの医療、臨床開発における活用 演者：浅野 健人（大阪大学）
15:55～16:20	（仮）アカデミアの臨床開発分野における生成AI活用 演者：川端 紗智重（国立がん研究センター中央病院）
16:20～16:45	（仮）製薬企業の臨床開発分野における生成AI活用 演者：保田 昂之（中外製薬株式会社）

Session7b	薬事
15時30分～16時45分	座長：米山 昭成（PPD-SNBL）
15:30～15:55	（仮）申請電子データと薬事制度 演者：橋本 千恵（大塚製薬株式会社）
15:55～16:20	日本における遺伝子治療開発の進め方：PMDA相談を戦略的に実施するためのSYNAPSEモデル 演者：安藤 由紀（PPD-SNBL）
16:20～16:45	少数例臨床試験を含むエビデンス構築　― PMDA Early Considerationを踏まえて ― 演者：河合 統介（ファイザー株式会社）

閉会挨拶 (16:45～) 下川 敏雄(和歌山県立医科大学)